

11	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15105004	ゾルーゲル転写システムを活用した機能性有機・無機複合物質群の創製	新海 征治 (九州大学・大学院工学研究院・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>超分子化学の概念を超分子有機無機複合化学へと発展させつつある本研究は、着実に成果を出しつつある。超構造をもつ無機材料の創製にとって鑄型となる超分子材料の設計、集合設計、官能基設計は極めて重要であるが、大きな進展が見られる。また、ポリジアセチレン性ナノファイバーの調製は、複合化を待たずとも価値は高い。ナノサイズの方法素子がゲル化という簡便な手法で調製できることを考えると、ボトムアップナノテクノロジーの観点からバイオや化学分野での革新的手法の開拓につながる可能性がある。</p>				
12	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15105005	炭素ナノπ電子系の局所構造と特異な電子・磁気特性	榎 敏明 (東京工業大学・大学院理工学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>ナノグラファイトやナノグラフェンの研究は日本の独創的な研究として評価されており、研究代表者も日本の第一人者の一人で、研究活動が評価されている。本研究の波及効果は大きい。ナノグラフェンのジグザグ端とアーム端の STM 観測、AFM と共鳴ラマンによるナノグラフェンリボン観測など、成果を着実に上げており、さらに続いて本研究を進めることが望まれる。計画全てを達成することも大事であるが、このプロジェクトから突出した研究成果や、偶然の中からの大きな発見も期待している。</p>				